

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理または交換をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただき、お買い上げの販売店にお申しつけください。ただし消耗品・付属品は除く。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、カスタマーセンターにご連絡ください。
 - ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにご連絡ください。
 - ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合には、カスタマーセンターへご連絡ください。
 - 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
(ホ) 一般家庭以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
(ヘ) 本書の添付がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(チ) 持込修理の対象商品を直接カスタマーセンターへ送付した場合の送料等はおお客様のご負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はおお客様のご負担となります。
5. 本書は日本国内での使用においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 消耗品・付属品は保証の対象外です。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

récolte® レコルト ソロブレンダー シエル 保証書

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合には本書上記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票上記に記載しております。

保証期間	お買い上げ日より	本体1年間	お買い上げ日	年	月	日
お客様	ご住所 〒 -		販売店			
			住所・店名			
お名前		様				
電話 ()	-		電話 ()	-		

ウィナーズ株式会社

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター TEL.03-6662-7100 受付時間 10時~12時/13時~17時(土日祝日を除く)
住所 〒125-0062 東京都葛飾区青戸4-18-12 ソークンビル4F

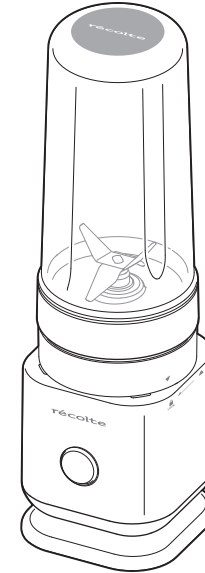
This product is for use inside Japan only. Do not use outside Japan.

This warranty is valid only in Japan.

récolte®

Solo Blender Ciel

レコルト
ソロブレンダー シエル
RSB-4



取扱説明書

この度はレコルト ソロブレンダー シエルをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

This product is for use inside Japan only.
Do not use outside Japan.

製品についてのお問い合わせは下記まで

カスタマーセンター
TEL.03-6662-7100

【受付時間】
10時~12時/13時~17時(土日祝日を除く)

【住所】
〒125-0062
東京都葛飾区青戸4-18-12 ソークンビル4F

INDEX

安全上のご注意	1-4
初めてご使用になる際、	
またはしばらく使わなかったときに	5
各部(パーツ)の名称	6
調理できない材料	7
材料の下準備	7
ご使用の前に	8-9
使用方法	10-14
お手入れのしかた	15
故障かな?と思ったら	16
仕様	17
無料修理規定/保証書	裏表紙

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りください。
内容表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、禁止(してはいけないこと)を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



この表示は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



この表示は、注意を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告

電源プラグ・電源コード



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしたり、操作したりしない。
感電・けがの原因。



禁止

タコ足配線しない。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常過熱して、発火することがあります。



禁止

電源コードは破損したまま使用しない。電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因。



必ず行う

電源プラグは、交流100Vで「15A125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む。
火災・感電の原因。

電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。

感電・ショート・発煙・発火の原因。

乳幼児が電源プラグを誤ってなめないように注意する。

感電・けがの原因。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災・発火の原因。

電源プラグにピンなどの金属片やゴミを付着させない。

感電・ショート・火災・発火の原因。



電源プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。



電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
感電・ショート・発火の原因。

本体



分解禁止

改造・分解・修理をしない。

火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店または、カスタマーセンターに相談してください。



水濡れ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

火災・感電・ショート・故障の原因。



接触禁止

ブレードには手を触れない。

けがの原因。



禁止

ボトルの中に材料以外のものを入れて使用しない。

けが・故障の原因。

交流100V以外では使用しない。

火災・感電・故障の原因。

子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで保管しない。

感電・けがの原因。

専用のパーツ以外は使用しない。

故障・けがの原因。

定格容量を超える材料(水などの液体含む)を入れない。

破損・けがの原因。



必ず行う

倒れたり落としたり、ぶつけるなど、本体に強い衝撃を与えない。
故障・破損の原因。

異常時(焦げ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用しない。
火災・感電の原因。

変形・破損などの異常や故障と思われる状態では使用を中止する。

火災・感電・けがの原因。

使用前・使用後は必ず各部品の点検を行う。

- ・長期間ご使用いただきますと、ブレードに刃こぼれなどが発生することがあります。
- ・破損、ヒビ割れを発見したときは使用しない。
故障や事故の原因。

以下の場合には使用を止め、当社の点検・修理を必ず受ける。

- ・製品に不具合、損傷がある。
 - ・製品を床に落とした。
 - ・製品が焦げ臭い、発煙する。
- カスタマーセンターに点検・修理を依頼してください。

塩素系成分を含んだ洗剤・漂白剤は使用しない。

サビが発生し、カッターの破損、ヒビ割れの原因。

⚠ 注意

■ 電源プラグ・電源コード



運転していないことを確認してから電源プラグを抜き差しをする。

感電・ショート・火災・発火・けがの原因。

必ず行う

■ 本体



禁止

業務用として使用しない。

変形・故障の原因。

この取扱説明書に記載のない目的・方法で使用しない。

けが・事故の原因。

調理以外の用途に使用しない。

火災の原因。

使用中は本体を移動させない。

故障・けがの原因。

使用中にお子様やペットをそばに近づけない。

けが・転倒・故障の原因。

連続運転は1分以上行わない。1分使ったら本体を10分以上休ませる。

故障・発煙の原因。

※連続運転時間は運転時間の合計です。例えば、20秒間の使用を10秒おきに繰り返した場合、3回の使用で合計1分になります。

材料(または水などの液体)を入れない状態での空回しはしない。

故障の原因。



禁止

熱い材料を入れて攪拌しない。

破損、やけどの原因。加熱した材料は40℃以下まで十分に冷ましてください。

ドライアイスや、氷のみでの攪拌、大きな氷、市販のかたい氷などは使用しない。

カッター破損の原因。

かたい固形物や粘度の高い材料は使用しない。

破損・故障の原因。

水分の少ない固形物だけの粉碎には使用しない。

破損・故障の原因。

ブレードに材料や水気が残った状態のまま放置しない。

サビが発生し、金属の破損・ヒビ割れの原因。

酸性やアルカリ性の洗剤を使わない。

破損・故障の原因。

金属製・ナイロン製のたわし・磨き粉・ベンジン・シンナー・漂白剤などを使わない。

破損・故障の原因。

⚠ 注意



禁止

本体のすき間にピンや金属物などの異物を入れない。

感電・けがの原因。

保護ロックを棒などで押さない。

けがの原因。

ボトル・ボトルカバーを冷凍庫に入れない。

破損の原因。

電子レンジやオーブン、食器乾燥機、食器洗い乾燥機に入れない。

故障・変形の原因。



必ず行う

使用中に本体が異常に熱くなったり、異臭がしたりした場合は、直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、30分以上休ませたあと、再度使用する。

発火・故障の原因。

本体へのボトルの取り付け・取り外しは、ブレードの回転が完全に止まってから行う。

故障・けが・やけど・感電・火災の原因。

■ 設置



禁止

不安定な場所、滑りやすい場所、濡れている場所では使用しない。

転倒、落下などによる破損・故障やけがの原因。

屋外で使用しない。

故障の原因。

物をのせたり、落下しやすい所に置いたりしない。

発熱・発火・感電・けがの原因。



禁止

水のかかりやすい場所では使用・保管しない。

火災・感電・変色・変形の原因。

直射日光・雨が当たる場所に置かない。

発熱・発火・漏電・故障の原因。

ストーブやガスコンロなど熱源のそばで使わない。

プラスチック部分が熱で破損する原因。

初めてご使用になる際、またはしばらく使わなかったときに

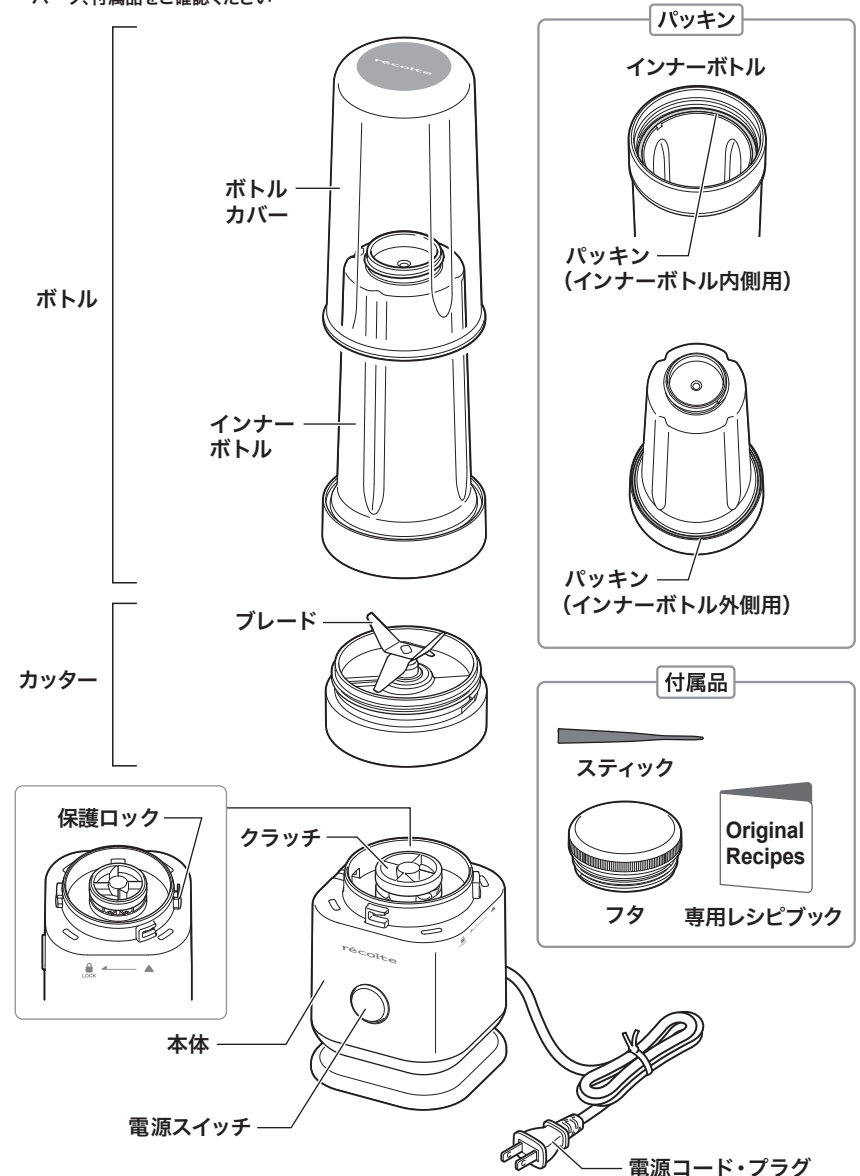
- 本体以外は台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどで洗ってよくすすぎ、しっかり乾かしてから使用してください。
- 本体を乾いた布などできれいに拭いてください。
- 本体を濡れていない、滑りにくい水平な場所に置いてください。
- インナーボトルにパッキン(インナーボトル内側用・外側用)が正しく取り付けられているか確認してください。
- 使用前・使用後は必ず各部品の点検を行ってください。
 - ・破損、ヒビ割れを発見したときは事故の原因になるため、使用しないでください。
 - ・カッターに損傷がある場合は使用を中止し、カスタマーセンターにご相談ください。

[チェックポイント]

- カッターの破損、ヒビ割れはありませんか？
- ボトルにヒビ割れや大きな傷はありませんか？

各部(パーツ)の名称

パーツ、付属品をご確認ください



調理できない材料

【かたい材料】

クラッシュアイス、市販のかたい氷／冷凍した材料／コーヒー豆／米／穀類／乾物(乾燥大豆、煮干し、干しいたけなど)など

【乾燥した材料】

乾燥野菜／ドライフルーツ※／パンや麺の生地など
※液体を入れる場合は使用できません。

1cm角以下の大きさに切って使用してください。

【粘りけのある材料】

やまいも／もち／納豆／おくらなど

【水分のない、または少ない材料】

魚・肉類／いか、えびなど／繊維質の材料／こんにやくなど

【油分の多い材料】

ナッツ類※／胡麻など

※液体を入れる場合は使用できます。

1cm角以下の大きさに切って使用してください。

【酒類】

【炭酸水】

※ペースト状の食事(介護用・離乳食など)には使用できません。

材料の下準備

・材料の皮や芯、種を取り除き、2～3cm角に切る。

・にんじんなどのかたい材料は1cm角に切る。

・葉野菜などは2cm幅に切る。

・氷を使用する場合は、家庭用製氷機で作った氷(3cm角以下)を3～4粒まで。

※冷凍フルーツなどの冷凍した材料は半解凍、または解凍する。

※熱い材料は40℃以下に冷ます。

水分が少ないと氷が残るときがあります。その場合は水分を多めにに入れてください。

ご使用の前に

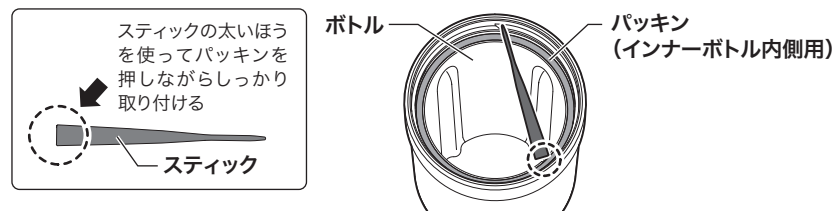
⚠ 注意

- 使用前に、パッキンが正しく取り付けられているか必ず確認する。
液もれ、故障の原因。
- パッキン(インナーボトル内側用)を取り外すときは、スティックを使用する。
つまようじや針、金串などは使用しない。
破損の原因。

※お買い上げ時、パッキン(インナーボトル内側用・外側用)はインナーボトルに取り付けられています。

パッキン(インナーボトル内側用)の取り付け

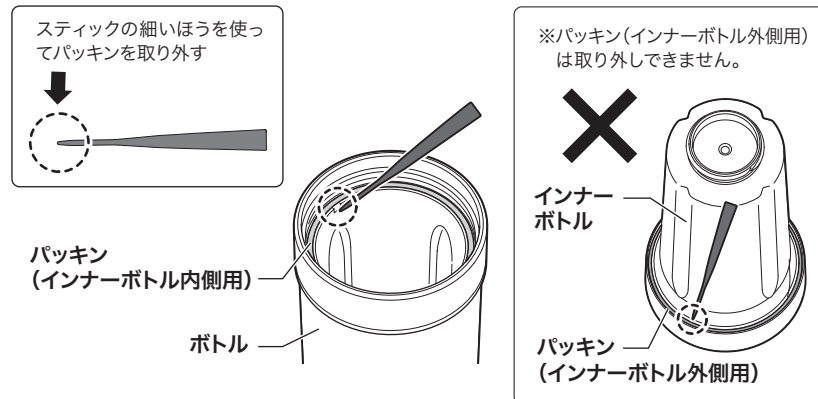
スティックを使用して、すき間やたるみがないようにしっかり取り付けてください。



パッキン(インナーボトル内側用)の取り外し

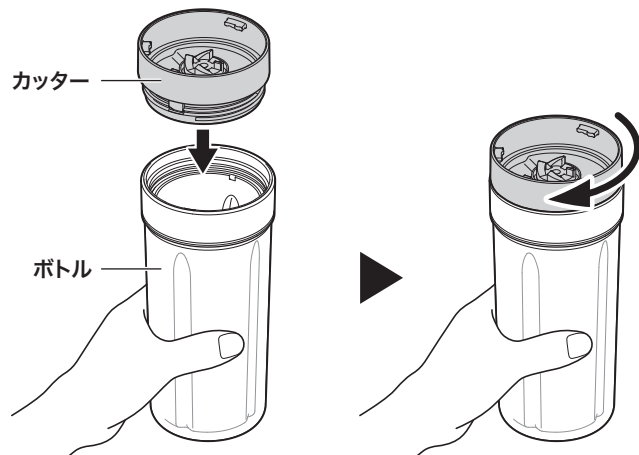
パッキンを押し上げて取り外してください。

ご使用後はパッキンを取り外して洗浄し、よく乾かしてください。



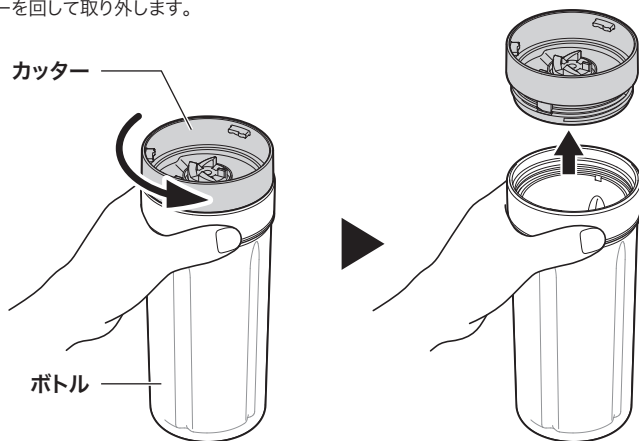
カッターの取り付け

カッターを回してしっかり取り付けます。



ボトルとカッターの取り外し

カッターを回して取り外します。



使用方法

基本的な使用方法について説明します。
具体的な調理手順については、付属の専用レシピブックを参照してください。

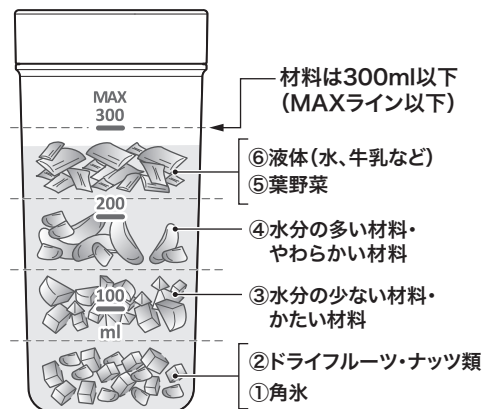
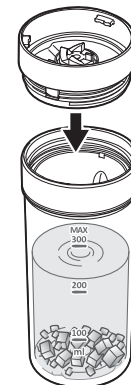
1 材料を準備する

2 ボトルに材料を入れ、カッターを取り付ける

かたいものから順番に入れる。
(かたい材料を後に入れるとブレードに引っ掛かり、運転が停止することがあります。)

入れる材料の順番

- ①角氷
- ②ドライフルーツ・ナッツ類
- ③水分の少ない材料・かたい材料
- ④水分の多い材料・やわらかい材料
- ⑤葉野菜
- ⑥液体(水、牛乳など)



氷・冷凍した材料を使う場合

【使用できる材料】

- 家庭用製氷器で作った氷
3~4粒(3cm角以下)まで
- 小さく切って冷凍した材料

【使用できない材料】

- 上記より大きな氷
- ドライアイス
- 市販のかたい氷
- 業務用製氷機で作った氷

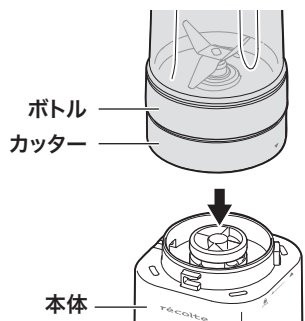
⚠ 注意

- 熱い材料は冷ましてから入れる。
- かたい材料、大きな固形物、定格容量を超える量の材料を入れない。
- カッターのみを本体にセットしない。
けがの原因。



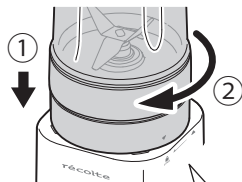
3 本体にセットする


※正しくセットされていないと本体は運転しません。

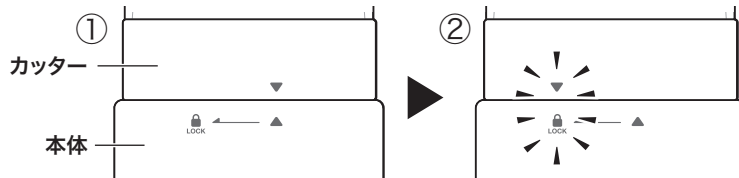


⚠ 注意

- ブレードは直接手で触らない。
- カッターのみを本体にセットしない。けがの原因。
- ブレードの欠けや破損、ぐらつきがある状態で使用しない。けがの原因。

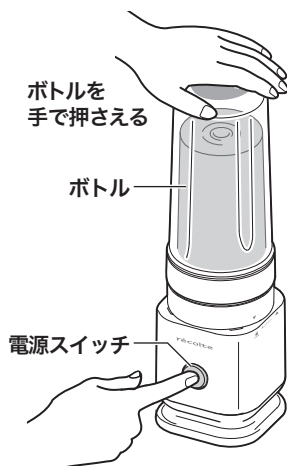
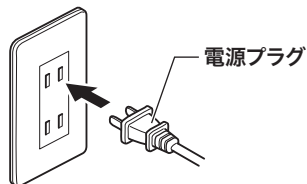


- ① カッターの▼と本体の▲の位置を合わせます。
- ② カッターの▼と本体のロックマーク  の位置が合うように回して、しっかりロックさせてください。



4 電源プラグをコンセントに差し、本体の電源スイッチを押して攪拌する

電源スイッチから手を離すと停止します。



●電源スイッチのプッシュ操作について

パルスプッシュ	1回1秒程度を目安に、押す/離すを繰り返します。かたい材料を攪拌するときの操作方法です。
連続プッシュ	材料がお好みの状態になるまで、電源スイッチを押し続けます。材料を滑らかにするときの操作方法です。

- ・最初の数回はパルスプッシュし、材料がなじんできたら連続プッシュで攪拌してください。
- ・使用中に食材が詰まったり、ブレードが空転する場合は、運転を停止してください。ボトルとカッターを本体から外し、上下左右に振って材料を移動させて、再度本体にセットして攪拌してください。
- ・材料が熱い状態で攪拌しないでください。加熱した材料は40℃以下まで十分に冷ましてください。

※1回の運転は定格時間を超過して行わない。

(連続運転時間は1分です。1分使ったら10分以上休ませてください。)

連続運転時間は運転時間の合計です。例えば、20秒間の使用を10秒おきに繰り返した場合、3回の使用で合計1分になります。)

⚠ 注意 モーターの保護装置について

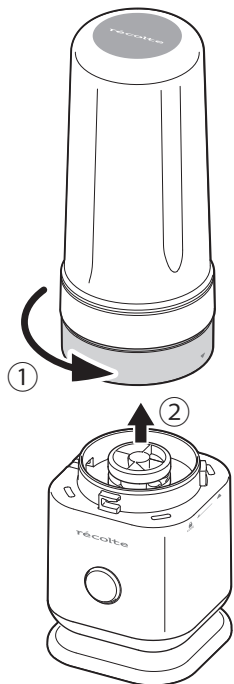
- モーターに負荷がかかりすぎると保護装置が働き一時停止します。
- 材料の入れすぎ、からまりなどにより、使用中に動かなくなったときは、直ちに材料の量を減らしてから再度運転させてください。それでも運転しない場合は電源スイッチから手を放し、電源プラグをコンセントから抜いて、本体を30分以上休ませてください。

⚠ 注意

- しっかり押さえて操作する。危険を感じた場合は、電源スイッチから手を離し停止させる。
- 電源スイッチを押しても、ブレードが回らず、モーターが空回りや運転しないなどの異常がある場合は、すぐに使用を中止する。故障やけがの原因。
- 使用中に本体ごと持ち上げたり振ったりしない。故障の原因。
- 攪拌するとき以外はコンセントから電源プラグを抜いてください。
- ブレードの動きが完全に止まるまで、ボトルは外さないでください。

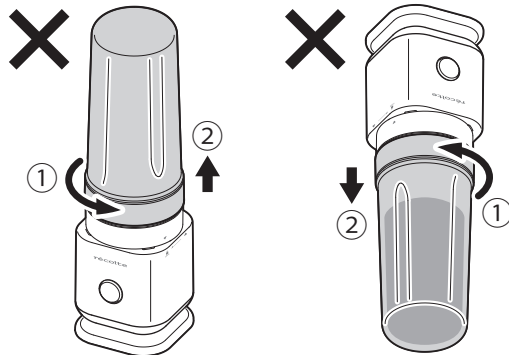
5 本体から取り外す

ボトルとカッターがゆるまないように手で押さえながら、3とは逆の手順でカッターを回して外してください。



⚠ 注意

ボトルのみを外さない。
必ずボトルとカッターを一緒に取り外す。



×
ボトルの準備やお手入れ
などをすると、ボトルだ
けを取り外さない。

×
攪拌後もボトルだけ
を取り外さない。

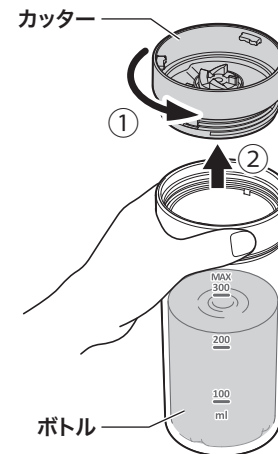
カッターが正しくボトルに取り付けられていなかったり、前回の使用後にカッターやパッキングが十分に乾燥していなかった場合、ボトルを外した際に水滴や材料などが付着していることがあります。

カッターが正しく取り付けられていることを確認し、使用後はお手入れ (p.15) を行い、十分に乾燥させてください。

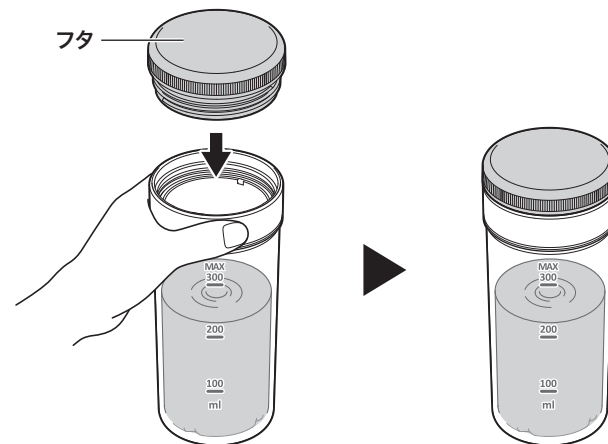
⚠ 注意

- ブレードの回転が完全に止まってからボトルを本体から外す。
故障・けがの原因。

6 カッターをボトルから取り外す



7 必要に応じフタをする



⚠ 注意

- 調理物を入れた状態で長期保存しない。
変色・変形の原因。(柑橘類は変色の原因になります。)
- 冷凍庫に入れて保存しない。
- 調理物が傷むことがあるため、長時間の持ち運びはしない。

お手入れのしかた

※お手入れをする際は必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、本体からカッターを外してから行ってください。

⚠ 注意

- ブレードは絶対に直接手で触れない。
- ブレードは研磨しない。
- かたいタワシや磨き粉、塩素系洗剤・漂白剤は使用しない。
故障・劣化の原因。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使用しない。
変形・変色の原因。
- 水分が残っていると、サビやカビが発生する原因となるため、しっかり拭く。

■ 水洗いできるもの

● ボトル・カッター・スティック・フタ

台所用中性洗剤を含ませたスポンジなどで洗い、よくすすいだ後、乾いた布などで水気をとってください。

- ・にんじん、葉野菜などの色素が部品・付属品に付着して変色することがあります。
使用後は早めにお手入れしてください。
- ・汚れはそのままにしておくと、取れなくなることがあります。
- ・パッキン(インナーボトル内側用)は取り外して洗ってください。(p.8参照)

■ 水洗いできないもの

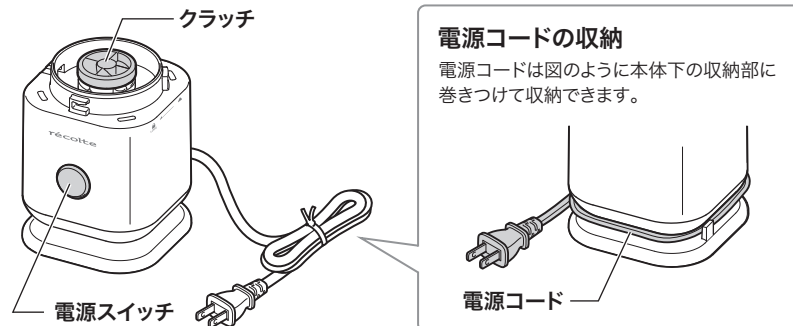
● 本体

やわらかい布などに水を含ませ、かたくしぼってから汚れを拭きとり、乾いた布などで水気をとってください。

※本体上部や側面をすすいだり、本体ごと水に浸け置きはできません。

⚠ 注意

- クラッチ周辺・電源スイッチにスプレー式の洗剤を直接かけたり、水分を多く含んだ布で拭かない。
故障・劣化の原因。



故障かな?と思ったら

修理の依頼をされる前に、下記内容をご確認ください。
問題が解決しない場合は、カスタマーセンターにご相談ください。

症状	主な原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
振動や音が異常に大きい	材料がブレードにはさまっている 材料が大きすぎる 材料が多すぎる 本体とカッターが正しくセットされていない	運転を停止させ、材料を取り除いてお手入れする 材料を小さく切る 材料を減らす カッターを正しくセットする(p.11)
ブレードが回らない/ 運転が途中で停止した	本体とカッターが正しくセットされていない 材料が大きすぎる 材料を一度に多く入れすぎた 材料がブレードにはさまっている 調理できない材料を使っている	カッターを正しくセットする(p.11) 材料を小さく切る 材料を減らす 運転を停止させ、材料を取り除いてお手入れする 調理できない材料(p.7)を確認する
本体が異常に熱い	定格時間を超えて使用している	定格時間内で使用する 連続して使用する場合は30分以上休ませる
異臭がする	本体とカッターが正しくセットされていない	カッターを正しくセットする(p.11)
カッターと本体のすき間から水分が漏れる	各パッキンが正しく取り付けられていない 材料が多すぎる ボトルとカッターの取り付けがゆるい	パッキンを正しく取り付ける(p.8) 材料を減らす ボトルとカッターをしっかり取り付ける(p.9)
部品・付属品などが変色する	特定の果物、野菜により色素が付着した	そのままご使用ください

※ 確認後、なお異常があるときは、カスタマーセンターにご相談ください。

※ 定格時間内の運転でも、過負荷や休止時間が不十分な場合は保護装置が動き、運転が止まります。
その場合は30分以上休ませてください。

